

お笑い芸人・志村けんさんから学ぶ その2

2020.5.9

「できるだけ遊んで、経験(けいけん)して、小さな傷(きず)をたくさん作って学習してみる。学ぶと同時に(どうじに)、傷(きず)になれて免疫力(めんえきりょく)をつけていくことが大切(たいせつ)だ。」(志村けん)



志村けんさんは、遊びのたいせつさをおしえてくれます。
いろいろなあそびがあります。
からだをうごかしてあそぶ。テレビゲームをしてあそぶ。
なにかをつくってあそぶ。だれとあそぶでしょうか。
ひとりで、仲間と、家人となど。

志村けんさんは、あそびのなかで、いろいろなことが学べると言っています。
友だちと仲よくすること、けんかをすること、話をしてること、うまくできる
ように工夫すること、失敗すること、からだを強くすることなど、遊びから
とてもたくさんのことまなぶことができます。

「傷(きず)」とは何でしょうか。体をきずつけることばかりでないでしょう。
「心の傷」もあります。けんかして、自分の思い通りにならなくて、くやしい
思いをすること、がっかりすること、なにもかもいやになってしまふこと。

でも、傷をたくさんうけながら、だんだんと、なれていくことがだいじだ
と言います。ちょっとしたことに「心がおれたりしない」人、強い人になるので
す。すぐに、「心がおれた」と言わなくなるかもしれません。

いろいろな遊びをしながら、「小さい傷」をつくり、心を強くしてほしいと
思います。

志村けんさんのたのしいコントは、
小さな傷をたくさんつくりながらでき
あがったものかもしれませんね。

